

# 質 問 書

2023 年 1 月 5 日

「パレスチナ零細中小企業振興に係る情報収集・確認調査(QCBS)」

(公示日:2022 年 12 月 14 日/調達管理番号:22a00714)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.11 第 5 条調査の内容 (2)金融アクセス改善に資する銀行側、MSME 側の能力強化研修教材の検討	BoP,PBI,マイクロファイナンス組織 Sharaka を通じたパイロットとして実施する研修の期間の想定を教えてください。また、何名程度の参加者で、どの県からの参加を想定されておりますでしょうか。	研修の期間につきましては、各行・機関共通内容の数時間の座学講義と、各行・機関ごとに開発する、ケーススタディを含む実務的な研修(数週間(一日 2~3 時間、計 20~30 時間)程度を想定しております。 参加者の人数につきましては、共通内容とする座学講義についてはラマツラ市周辺の BoP 行員(最低参加人数 10 人程度)、実務的な研修については BoP の各部署チーム(ラマツラ市周辺)で数人~20 人程度となる想定をしております。また、共通内容とする座学講義については、オンライン実施とすることも想定しております。 参加者については、パイロット事業であることから、西岸地区についてはラマツラ市(及びその周辺)からの参加者、ガザ地区についてはガザ市からの参加者を想定しています。 また、研修の内容につき、西岸地区とガザ地区では金融アクセスにおける金融機関側の課題についてレベルが違うことが想定されるため、それ

			それぞれの地区の課題感に合わせた研修内容としてください。
2	P.11 第5条調査の内容 (2)金融アクセス改善に資する銀行側、MSME側の能力強化研修教材の検討	研修教材案は、銀行側、MSME側の両方向けに作成するとの理解ですが、パイロットとして実施する研修は、MSME向けではなく、銀行向けのみ(BoP、各行、マイクロファイナンス機関)という理解で良いでしょうか	MSME向け、銀行向け双方のパイロット研修の実施を考えております。
3	P.19,20 2(6)の2)渡航後 3.ガザ地区での行動規範  4.見積書作成にかかる留意事項 (2)別見積もりについて	ガザ地区に入る際の防弾車の手配は、JICAにて行われ、別見積にも計上しないという理解で宜しいでしょうか。(西岸地区への移動は、タクシー借上げを想定)	防弾車の手配は JICA にて行いますが、支払いには各プロジェクト経費となりますので、別見積もりに計上ください。(一日あたりの単価は、確定ではありませんが 500USD として計上ください)
4	p.20 4.見積書作成にかかる留意事項 (2)別見積もりについて	旅費(航空賃)は、別見積ではなく、本見積として計上するという理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。

5	<p>・企画競争説明書 p.11  (2)金融アクセス改善に資する銀行側、MSME 側の能力強化研修教材の検討  (3)研修実施機関の検討</p>	<p>各行・機関ごとに研修教材を作成し、パイロット研修も実施し、研修実施機関も検討するなど、「研修」ポジションの担う役割はとて大きいと存じます。一方で、「研修」ポジションの想定工数は4.0 MMと、その業務内容に比して工数が少ないのではないかと感じております。その理由を推察するにあたり、以下2点についてお考えを伺えますでしょうか。</p> <p>1. PBI等の研修機関の既存研修教材を調査することとなり、当該教材がかなりの程度活用できるとの前提であるか？  2. パイロット研修など、現地業務の多くを現地コンサルタントが実施する前提であるか？</p>	<p>1につきましては、各行・機関共通内容の数時間の座学講義は、PBI等の研修機関の既存教材のレベル感の調査をしたうえで、活用も想定されます。他方、ケーススタディを含む実務的な研修の内容については、まずはBoPと研修教材を作成して頂き、パイロット研修を実施する、という流れを考えております。他行や他機関への研修については、今後の技術協力プロジェクトでの実施も検討しつつ、本調査の進捗に応じて適宜ご相談させていただきます。</p> <p>2につきましては、ご理解の通り、現地での研修につきましては現地コンサルタントの可能な限りの活用を想定しております。以上をふまえて、現地コンサルタントの活用方法を含めてご検討、ご提案ください。</p>
6	<p>・企画競争説明書 p.15  プロポーザルにて特に具体的な提案を求める事項  ・企画競争説明書 p.20  4. (2)別見積りについて</p>	<p>現地コンサルタントの活用方法について提案が求められると認識しております。つまり、特殊備人費用もしくは現地再委託費用が発生する予定です。他方、提案に基づく費用は別見積りに計上されると認識しております。これら特殊備人費用や現地再委託費用は別見積り対象として構いませんでしょうか。</p>	<p>提案に基づく費用は別見積りの対象として計上してください。</p>

12/23 回答済み

通番号	当該頁項目	質問	回答
-----	-------	----	----

7	<p>・企画競争説明書 P.11  (2)金融アクセス改善に資する銀行側、MSME 側の能力強化研修教材の検討</p>	<p>MSME 向けのパイロット研修の期間、参加者数の想定を教えてください。また、どの県からの参加を想定されておりますでしょうか。</p>	<p>研修の期間につきましては、各社共通の数時間の座学講義と、各社の金融アクセス改善にかかるニーズ(融資申請書類の書き方がわからない、ビジネスプランが策定できない、等)に合わせたハンズオン支援(1.5 時間/日を 10 日程度)を想定しております。  参加者はラマツラ市周辺からを想定しております。</p>
8	<p>・企画競争説明書 P.11  (2)金融アクセス改善に資する銀行側、MSME 側の能力強化研修教材の検討  及び  ・p.20 見積書作成にかかる留意事項 (2)別見積もりについて</p>	<p>銀行側、及び MSME 側に行うパイロット研修に係る活動経費は、別見積りとして費用を計上すれば良いでしょうか</p>	<p>本見積もりに計上ください。</p>
9	<p>・企画競争説明書 P.15  プロポーザルにて特に具体的な提案を求める事項「No1.現地コンサルタントの活用方法」  及び  ・p.20 見積書作成にかかる留意事項 (2)別見積もりについて</p>	<p>p.20に別見積りとなる項目、その他に「特になし」と記載があります。p.15 に提案を求める内容のパイロットと研修に係る現地コンサルタントは、特殊傭人と想定されますが、全て別見積りとして費用を計上するという理解で良いでしょうか</p>	<p>パイロット研修は提案ではなく本調査に不可欠な要素となっておりますので、パイロット研修に係る現地コンサルタントについての費用は本見積りにて計上をお願いいたします。</p>
10	<p>企画競争説明書 P.15  プロポーザルにて特に具体的な提案を求める事項「No1.現地コンサルタントの活用方法」  及び</p>	<p>p.15 に代替案に要する経費は本見積りに計上と記載がありますが、1 回目の No6 の質問回答では、「提案に基づく費用は別見積りの対象として計上してください。」と記載があります。  調査内容を代替する提案は本見積りとして計上</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>

	JICA 質問回答1回目の No6	し、調査内容に新たに追加する提案は、別見積として計上するという理解でよいですか？	
11	p.11-12 (4)既往の発注者の実施プロジェクトとの連携 NE による BoP 及び他銀行の顧客企業に対する BAS の提供」について	1)既存 NE 以外の現地会計士等を特殊傭人として別見積で計上することは可能でしょうか？ 2)また試行のパイロット段階では、企業側が NE の報酬を全て負担することが難しいことも予想されますが、サービス提供する NE への謝金をプロジェクト予算から拠出することは想定されていますか？想定する場合、NE への謝金は別見積になりますでしょうか？	1)業務内容によりませんが、調査内容に新たに追加する提案に係るものであれば別見積もりで計上ください。 2)謝金はプロジェクト予算から拠出することも検討可能です。その場合、別見積もりでご提案ください。
12	プロポーザル評価配点表について	2. 業務の実施方針等の(1)-(4)まで合計すると40点になりません	以下の通り配点します (1)業務実施の基本方針の適格性 18 (2)業務実施の方法の具体性、現実性等 18 (3)要員計画等の妥当性 4 (4)その他(実施設計・施工管理体制) -
13	・企画競争説明書 p.11 (2)金融アクセス改善に資する銀行側、MSME 側の能力強化研修教材の検討	「BoP、PBI等と連携し、銀行側、MSME側への研修教材案の作成、検討（研修教材は、各行・機関共通内容の数時間の座学講義と、各行・機関ごとに開発する、ケーススタディを含む実務的な研修（以後略）」について、以下2点お伺いできますでしょうか。 ① 「各行・機関」で想定される対象をご教示いただけますでしょうか。銀行及び研修実施機関を指しているように見受けられますが、冒頭では「MSME側への研修教	①クドゥス銀行等のパレスチナの民間銀行、およびパレスチナのマイクロファイナンス組織、MSME を研修の対象として考えております。ただし、金融セクターへの研修に関しては、まずは BoP と研修教材を作成して頂き、BoP 行員向けにパイロット研修を実施する、という流れを考えております。他行や他マイクロファイナンス機関への研修については、今後の技術協力プロジェクトでの実施も検討しつつ、本調査の進捗に応じて適宜ご相談させていただきます。

		<p>材案の作成」との記載もあるため、確認させていただきたい次第です。</p> <p>② ①について、万が一 MSME が研修対象として想定されている場合、MSME 側への研修教材も同様に座学、ケーススタディを実施するという認識で相違ないでしょうか。</p> <p>③ 「各行・機関共通内容の数時間の座学講義」とは、下記の2つのどちらを指しますか。いずれにも当てはまらない場合は、ご想定の内容をご教示いただければ幸いです。</p> <p>- 全ての「研修受講者」共通 - 「研修受講者」のうち、銀行側(BoP、PBI、マイクロファイナンス機関)間で共通の研修と、MSME 間で共通の研修</p>	<p>②MSMEも研修対象として想定しております。各社共通の数時間の座学講義と、各社の金融アクセス改善にかかるニーズ(融資申請書類の書き方がわからない、ビジネスプランが策定できない、等)に合わせたハンズオン支援(1.5 時間/日を 10 日程度)を想定しております。</p> <p>③「研修受講者」のうち、銀行側(BoP、PBI、マイクロファイナンス機関)間で共通の研修と、MSME 間で共通の研修を想定しております。</p>
14	<p>・企画競争説明書 p.11 (2)金融アクセス改善に資する銀行側、MSME 側の能力強化研修教材の検討</p>	<p>「研修実施のためのロードマップ整理。BoP、PBI、マイクロファイナンス組織 Sharakaを通じたパイロットとしての研修の実施と評価(以後略)」について、下記の点をご教示いただけますでしょうか。</p> <p>① 研修参加者は、BoP、PBI、マイクロファイナンス組織Sharakaがノミネートし、各行・機関が研修に派遣を行うという理解でよいでしょうか。また、参加者の日当支払いは無いという想定でよろしいでしょうか。</p> <p>② BoP、PBI、マイクロファイナンス組織 Sharakaの上記①以外の役割をご教示く</p>	<p>① ご理解の通りです。まずは BoP の参加者がノミネートし、BoP が研修に派遣を行うという検討をしています。研修参加者の日当支払いは無いという想定をしています。</p> <p>② 研修の実施の主体はコンサルタントになります。現地コンサルタントの活用を含めてご提案ください。</p> <p>③ 会場借り上げ費用を計上して頂いてもよいですが、BoP も研修施設を有しておりますので、本調査の中で適宜 BoP とご相談ください。</p>

		<p>ださい。上記の3組織は、パイロット研修の実施（講義、ワークショップ等）を担い、他方、当案件コンサルタントはパイロット研修の効果評価を行うため同席する程度の関与でしょうか。それとも、研修の実施の主体は、当案件コンサルタントでしょうか。</p> <p>12月23日付第一回回答の通番号1の回答の「共通内容とする座学講義については、オンライン実施とすることも想定しております。」の記載に関し、オフラインでの開催の場合は、BoP、PBI、マイクロファイナンス組織 Sharaka による会場提供を想定していますか。会場の借上げを想定されていますでしょうか。その場合、会場借り上げ費用を計上する必要があるか確認させていただきますでしょうか。</p>	
15	<p>企画競争説明書 p.11～12 （4）既往の発注者の実施プロジェクトとの連携</p>	<p>具体的な実施内容として以下の3点が記載されています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. NEを登録するための手順や基準等の確認</li> <li>2. NEがMSMEの金融アクセス確保を支援する際に必要な能力の特定</li> <li>3. NEによるBASの提供（パイロット事業として実施）</li> </ol> <p>2番の段階では金融アクセス改善に必要とする能力の特定をするだけで、NEの能力強化が含まれておりません。3番でBASをパイロット的に提供する際は、金融アクセス改善にかかるBAS</p>	<p>金融アクセス改善にかかるNEの能力を特定したうえで、NEがパイロット的にBASを提供するうえで能力が不足しているようであれば、能力強化を行って頂き、NEが金融アクセス改善に係るBASを提供できるようにしてください。また、NEはビジネスプランの策定、生産管理、財務等の分野でBASを提供する能力を有しており、この分野でのMSMEへのBAS提供による企業力強化は金融アクセス改善にも関わってくると想定されるため、NEの既存の能力を活用したBASの提供も本調査の中で合わせてご検討くださ</p>

		は含まれないとの認識で正しいでしょうか。その場合、パイロット事業としての BAS の提供の目的をご教示ください。	い。
16	企画競争説明書 p.11～12 (4) 既往の発注者の実施プロジェクトとの連携	パイロット事業としてBASを提供する際の工数を把握したく存じます。既存のBASはパッケージサービスとなっていることと推測しますが、一通りのサービスを受ける場合の時間数をご教示いただけますか。(例:●時間/コマ×●コマ)	① 5～8 時間の無料企業診断及びミニコンサルテーション ② ミニコンサルテーションにより、企業のニーズと課題に応じて特定された分野(ビジネスプラン策定、財務、プロモーション、生産管理)について、24 人日で詳細な分析、解決策の提案等 ③ 6 時間/日×4 日間の対面企業研修 上記となっております。



17	<p>企画競争説明書 p.11～12  (4) 既往の発注者の実施プロジェクトとの連携</p>	<p>「NEによるBoP及び他銀行の顧客企業に対するBASの提供」に関する、当調査コンサルタントの役割をご教示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当BASを提供するNEの特定</li> <li>2. 当BASを受ける参加企業の特定を、BoP及び他銀行からのノミネートを受けて調整を行う。</li> <li>3. NEによるBAS提供の側面支援。もし、特に想定されている内容があれば、ご教示ください。</li> </ol> <p>BAS 提供の対価の NE への支払いを当業務で行うことが想定されていますか。その場合は、想定額があればご教示いただけますでしょうか</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.BAS を提供する NE の特定および、金融アクセス改善に係る BAS を提供するうえでの、NE の必要な能力の特定(NE に能力が不足している場合については NE の能力強化)</li> <li>2.BAS を受ける企業の特定を BoP からのノミネートを受けて調整、及び、既往 BAS 裨益企業の中から選定、調整</li> <li>3.NE による BAS 提供の側面支援(NE の BAS 提供に係る伴走支援(例.NEの作成物に関する助言)及び BoP へのフィードバック等を想定)</li> </ol> <p>BAS 提供の対価の NE への支払い、費用負担についてはプロジェクト負担とすることも検討できると考えております。想定額としてはNE1人あたり約 6000 円/日になります。</p>
----	---	--	---

1月5日回答済み

以上